

駅前ホースセラピー

不登校や引きこもりの人たちが馬との触れ合いによって心身を癒やすホースセラピーの牧場が26日、大阪府枚方市の中心部にオープンする。運営にあたるNPO法人が、市から京阪枚方駅近隣の二等地を借り受けて開設する国内初のセラピー専用牧場で、市や牧場には100件以上の問い合わせが相次いでいる。

運営主体のNPO法人

「ホース・フレンズ事務局」

(大阪市)は2004年の

設立で、府内2か所の乗馬

クラブでセラピーを実施。

これまで約500人が参加

し、不登校だった児童が馬

との触れ合いを通じて心を

開き、学校に通うようにな

ったケースもあるという。

京阪枚方駅から徒歩約

3分の市有地(約6500

平方メートル)を、市が文化施設

を建設するまで数年間の借

り手を探していたため、同

法人が応募。市も「癒やし

というイメージは市の顔に

ふさわしい」と有償での貸

与を決めた。周囲をビルに



オープンを前に牧場に到着したセラピー馬。周辺にはビルが並ぶ(大阪府枚方市で)



開まれた更地で、所々に雑草や杉などの樹木が茂っている。放馬場や調教場は整備されており、今後1年かけて芝生を植えていく。馬は、映画「風の谷のナウシカ」に少女を癒やす馬として出演した元競走馬ゼンノカシユールなどサラブレッドやポニーの4頭。参加者は週1回、給餌や小屋の掃除をしたり、乗馬をしたりして馬と触れ合う。4回のプログラムで6000円。専門のセラピストが指導にあたるが、セラピー体験者がボランティアとして協力する。

同法人の芦内裕実理事長は「人が馬で癒やされ、馬も人の気持ちに伝える相互関係で成り立つ。日常社会にも当てはまる関係を通じて、自信を取り戻してほしい」と言う。

不登校の子どもらを受け入れる兵庫県立神出学園の学園長でもある小林剛・武庫川女子大大学院教授(臨床教育学)は「馬の高い背中に乗った時、子どもたちは自信を取り戻す。市街地にあるので交通の便がよく、子どもたちが継続的に馬と触れ合うこともできるので、効果に期待したい」と話している。

問い合わせは、ホース・フレンズ(06・65555・8888)へ。

国内初の専用牧場枚方に NPO法人市有地借り